



立東舎

東大の先生が考えた 読書入門

気になった人はP31から読んでみよう

面倒くさそうなお男!



「そうです。五分ぐらいだと思っていたのが約一寸ほどあるんで津田の顔には苦笑の裡に淡く盛り上げられた失望の色が見えた上着の前に両手を組み合わせたまま、ちょっと首を傾けた。それが事実だから仕方ありません。医者は自分の職業に対して虚言すから」という意味に受取れた。

津田は無言のまま帯を締め直して、椅子の背に投げ掛けられた。「腸まで続いているとすると、癒りっこないんですか」



「医者を探りを入れた後で、手術台の上から津田を下した。『やっぱり穴が腸まで続いているんでした。この前探った時は、たので、ついそこが行きとまりだと思えばかり思って、ああ云ったんするために、そいつをがりがり掻き落して見ると、まだ奥がある』そうしてそれが腸まで続いているんですか」

え？ い、たいどんな病気？

夏目漱石の『明暗』に「らくがき」をしたらこうなった!

名作をいじる

「らくがき式」で読む最初の1ページ

阿部公彦 著

定価：(本体1800円+税)